1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2021 年 3 月 19 日発行　SSKR 通巻第 9178 号

SSKR

にじの会だより

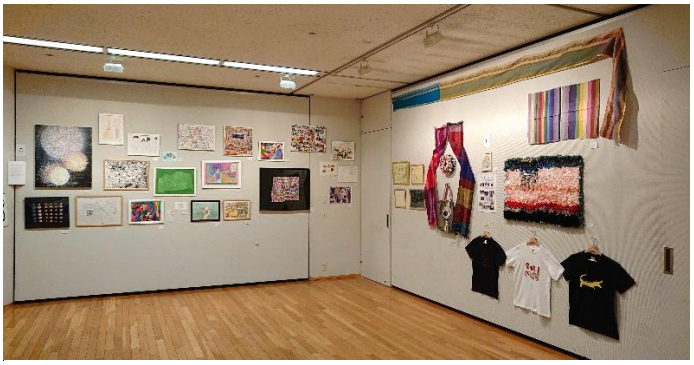
Vol.77

社会福祉法人　にじの会
理事長　石崎　優仁
〒181-0015　東京都三鷹市大沢１－６－３
TEL 0422-39-2411
FAX 0422-39-2412
ホームページ：nijinokai.org

２０２１年３月２５日～２８日

第２回　にじの会作品展　三鷹市芸術文化センター

にじの会の美術活動は、様々な利用者の自己表現ニーズに応え実現する事や、感触や音感等を含めた制作過程を楽しむ事を重視して取組んでいます。また近年はタブレットを使った創作も開始するなど、新しいツールを活用した活動も展開しています。こうした日々の活動を発表する機会として「にじの会作品展」は３年ごとに開催する事としており、今回の展示は２０１８年３月の三鷹市美術ギャラリーでの展示に続く第２回目となります。特に今回は法人設立２０周年を迎えるにあたり、にじの会美術・創作活動の集大成として、利用者が制作した作品・工芸品など２００点以上を展示いたしました。



一方で昨今はコロナ禍の影響があり、にじの会においても利用者の活動や社会参加には様々な制約が生じています。この展覧会も様々な感染症対策を講じた上での開催となりました。事前の広報も昨今の状況を鑑み、やや控えめの告知となりましたが、４日間の開催で約３００名の方々が来場され、にじの会利用者の活発な創作活動に触れて頂く事が出来ました。今回ご後援を頂いた三鷹市・三鷹市社会福祉協議会から河村三鷹市長等も来場され鑑賞していただきました。

利用者の皆様にとっても久しぶりの社会参加の機会となりました。ギャラリーでの滞在時間は限定的でしたが、展示された自身の作品や所属工房の作品を鑑賞したり、普段はあまり交流する事の無い他工房や事業所の利用者作品に触れる機会となり、楽しんで頂けた様子です。

（支援専門美術：千葉鉄也）

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2021 年 3 月 19 日発行　SSKR 通巻第 9178 号

第７回　ウォーキング大会

心地良い春日和に恵まれた４月９日金曜日、「第７回にじの会ウォーキング大会」を開催致しました。例年、徒歩もしくは、送迎車で野川公園まで向かい、現地でお弁当を食べてにじの里まで帰所するという一日がかりの計画で実施をしておりました。今回に関しましては、都立公園等でレジャーシートを広げての飲食ができなかったことから、午前のみの実施とし、行先も「野川公園」・「武蔵野の森公園」・「神代植物公園自由広場（無料開放区域）」の３ヶ所に分散して行いました。ウォーキング後は、各事業所に帰所し、昼食は例年通りお弁当を食べました。

例年に比べてコンパクトな内容となりましたが、普段から外出先も制限される中、青空の下で春の景色を楽しみながらのウォーキングは、心身ともにリフレッシュできる有意義な時間になったのではないかと思います。今後も感染症の動向によって、イベントの形式も変わることと思いますが、そのような状況下でも、利用者の方が最大限楽しむことができる方法を模索し、大会の企画等を行っていきたいと思います。

（支援専門運動：髙橋祥亮）

****

【野川公園コース】

【武蔵野の森公園コース】

【自由広場コース】

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2021 年 3 月 19 日発行　SSKR 通巻第 9178 号

第５回　ロードレース大会

春の暖かい陽気の中、２０２１年３月１９日（金）に第５回にじの会ロードレース大会を武蔵野の森公園プロムナードにて開催致しました。緊急事態宣言下でしたが、事前に公園と協議し、感染対策を十分に講じた上で開催致しました。日頃から長距離走の運動活動に参加されている２３名の方が出場し、多くの方が活動の成果を発揮し、過去の記録を上回る結果となりました。次年度以降もイベント等は制約が続くかもしれませんが、対策を講じた上で利用者の方の自己実現の場となるよう計画的に実施していきたいと思います。　（支援専門運動：髙橋祥亮）

２・７KM コースの皆さん

２KM コースの皆さん

生活介護事業支給金外出の実施状況報告

＜大沢にじの里＞

社会参加に繋がる活動を安全に提供出来る様、一人一人がマスクの着用に取り組む事で、換気された場所や区切られた空間での外食に行く事が出来ています。

またケーキの持ち帰りや PASMO を使用した買い物、調理余暇等を実施しています。お節、すき焼き、ホットプレートを使った焼きそば、チョコフォンデュ等の給食とは違う季節感の感じられる調理に、楽しそうな笑顔が見られています。それぞれの工房が工夫しながら、地域での社会経験を念頭に、取り組んでいます。　（大沢にじの里　長谷川靖）

＜にじアート＞

支給金による昼食外出では感染症対策が十分に講じられているハーモニーガーデンや、アートの近くにある「えび三」という釜飯屋を貸し切っての外食や、ハーモニーでお弁当を購入して野川公園などで飲食するなどしています。限られた場所への外出とはなりますが、工房から出ての食事や外出は利用者さんにとって、とても楽しい余暇となっています。今後も、感染症対策に配慮しながら新たな外出先も拡大し、可能な範囲での社会参加の機会を提供していきたいと思います。　（にじアート　時田秀明）

えび三

野川公園でお弁当

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2021 年 3 月 19 日発行　SSKR 通巻第 9178 号

2021 年度の基本方針と重点課題

にじの会理事会

２０２１年度は法人設立２０周年の年ですが、昨年からの新型コロナウィルス感染の拡大により社会活動の一層の抑制と医療体制の危機が迫ってきています。感染予防の更なる強化とワクチン接種の開始により、４月以降感染収束の方向が見えてくることが期待されています。

この１０年間は障害者が地域の市民として生きる権利を実現していく方向性は進んできていますが、法の趣旨と地域生活支援のサービス基盤の乖離が重度障害者を中心に大きくなってきており、高齢化対応と合わせて制度の空洞化が危惧されています。にじの会としては、前中期計画の総括を踏まえて、次の１０年の中期計画の策定と２０周年記念事業の実施を含め、以下のような２０２１年度の基本方針と重点課題を設定いたします。

＜法人組織運営の基本方針＞

＝地域共生社会の一員として SDG s に資する法人運営を目指す。

そのため、以下の重点課題に取組む。

（１）新型コロナウィルス等の感染症対策を強化し施設内感染防止力を向上する。また、地震災害への準備を進めるとともに、地球温暖化に伴う異常気象による災害への対策を強化する。同時に温暖化防止に資する事業運営を進める。

（２）地域貢献活動として三鷹市大沢地区の買物送迎支援事業を継続して取組むとともに、新川中原地域のケアネット事業との連携を進め、地域の支え合いの活動を強化する。

（３）次世代のにじの会を担う法人運営組織体制を確立する。特に経営戦略・人事制度・情報技術管理を担当する人材の育成を進める。

（４）新型コロナウィルス対応による利用者支援・事業運営方法の変化を踏まえて、同時に前中期計画の総括に基づいて、次期の中期計画「経営戦略２０３０年のにじの会のあり方」を経営会議を中心に設定する。

（５）法人設立２０周年記念事業を実施する。

①２０周年記念誌の発行

②２０周年記念式典の開催

＜事業運営の基本方針＞

＝感染症や自然災害への対応力を向上させながら障害者の権利実現への支援と地域生活ニーズへの対応を進める。

そのため、以下の事業運営の重点課題に取組む。

（１）事業運営のリスク対策の取組を進める。

①新型コロナウィルス感染等の感染症対策 BCP に基づき、対策本部を中心に予防策の実施、PCR 検査・抗原検査の活用、隔離対策等により施設内感染の防止を図るとともに、早期のワクチン接種で抗体による予防を進める。

②震災対策として各部門 BCP に基づき訓練を実施するとともに、停電・断水等への対応力を向上し事業継続力を強化する。また地域障害者の福祉避難所の機能を準備する。同時に地球環境悪化の中で風水雪害対策も強化する。

③利用者の安全確保のため、防犯設備やカメラ画像の活用ルール化を図り、防犯と転倒・誤嚥等の事故防止を進める。

④防災・防犯等の設備強化においては設備管理の改善と省エネ・再生エネルギー活用等を進める。

⑤文書・情報管理については、効率的な保存と流出防止を確保するために、情報管理体制の確立を図るとともに、過去文書・情報の定期的廃棄を実施する。

（２）利用者及び家族の高齢化への対応を進める。

①利用者の高齢化に対応し、認知症等による機能低下の防止策を工房えがお・つむぎと高齢化プロジェクトを中心に進めるとともに、職員の介護技術の向上を図る。

②要介護状態になった利用者や家族が必要な介護保険サービス等を受けられるよう、相談支援事業を中心に地域包括支援センターや自治体と協同して進める。

（３）「障害者が地域住民の一人として年齢相応の普通の生活をできるように支援する事」を目標に利用者支援（寄り添う支援）の質の向上を図る。

①各事業所の個別支援計画では、ICF の考え方の理解を深め、利用者の社会参加と意思決定・自己選択の推進を本人のエンパワメントの視点で感染症対策を考慮して計画的に取り組む。

②人権擁護については、継続した研修を実施し、虐待防止マニュアルを徹底して支援の質の向上を進めるとともに、合理的配慮の具体化を図る。

③利用者の自己選択や自己表現を推進するためにタブレット等の ICT の活用を ICT プロジェクトを中心に積極的に進める。

（４）事業収支や事業内容が不安定な事業については、事業運営の安定向上の実現を図る。

①ハーモニー就労継続 A 型事業につき、採算性を考慮して一部を B 型事業に分割し、地域ネットワーク等を活用した事業内容の充実と併せて事業黒字の確保を図る。

②就労移行支援事業は、高い就労実績を維持するとともに、発達障害や精神障害等への支援能力を向上して利用者の継続的確保を図る。また安定した事業運営を実現するため事業定員を６名に減少する。同時に就労定着支援利用者の増加に努める。

③未来工房にじ就労継続 B 型事業は、利用者主体の製品生産や活動内容に改善されたが、今期は製品や活動の質の向上を図り、利用者の確保に努める。

④にじアート放課後等デイサービス事業は、定員の減少と低学年受入れにより利用児童確保が実現しているが、更に支援の質と安全の向上を図る。また、アート生活介護事業との協同を進める。

（５）スタッフの採用・定着・能力向上を継続的に進める体制をつくる。

①スタッフの採用・定着の向上に向けて、働きやすい職場環境づくりに努め、必要な人事制度の改善を実施する。これには人事制度プロジェクトを中心にスタッフ全員が参加して取組む。また、採用力の向上に向け HP の運用管理体制整備とオンライン採用の強化を図る。

②スタッフの能力向上に向けて、研修の充実と服務規律の遵守を図る。オンラインでの所内研修・全体研修の充実と外部研修の活用も進める。

③支援・記録・業務・書式の標準化・マニュアル化を業務改善委員会を中心に進める。また、各部署でチームでの業務改善に取り組みチームワーク力の向上を図る。

④事業所運営と利用者支援にあたっては、安全・清潔・挨拶をベースに進める。

２０２１年度　利用者・職員計画

（事業）	（利用者数）	（職員数）
生活支援事業	８９名	５６名
日中支援事業	１０７名	５９名
就労支援事業	６６名	２１名
児童・業務他	２１名	２０名
合　計	１９４名	１５６名

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2021 年 3 月 19 日発行　SSKR 通巻第 9178 号

新型コロナウィルス感染対策・今後のにじの会の取組み

にじの会理事長　石﨑　優仁

昨年４月７日の新型コロナウィルス感染の緊急事態宣言発令から１年が経過しました。感染の第三波は一旦収まったものの４月には関西地域では最多感染者数となり、１都３県でも感染者数は再び増加しつつあります。感染力の強いコロナウィルスの変異株の急増と医療体制の逼迫で感染の第四波となりつつあると思われます。これまでの飲食店の夜間営業制限と各人の行動自粛に依存した対策では感染拡大を防止するには限界があります。ようやく国も高齢者施設等での一斉 PCR 検査の定期実施と市中感染チェック用の無料 PCR 検査等の積極的 PCR 検査を開始することになりました。また、飲食店の感染予防実施状況チェックを開始して外食時の感染防止に本気で取り組みだしている地域も増えてきています。

にじの会では、発症前や無症状の人でも感染力がある新型コロナウィルス感染の特徴から施設内での感染拡大を防止するには、利用者・職員の PCR 検査を定期的に実施し、各人の陰性確認と感染予防の有効性を確認するとともに、無症状の陽性者の早期発見が不可欠であると考え、昨年１１月以降、１月・３月と２カ月ごとに一斉 PCR 検査を３回実施してきました。３回とも全員の陰性が確認され、感染予防策の有効性も確認できました。

感染収束のカギとなるワクチン接種はかなり遅れており、医療従事者への接種も３割程度の進捗で第２順位の高齢者への接種は多くの自治体では５月以降に開始となり７・８月頃までかかると予想されます。知的障害者は基礎疾患者として施設職員と同じ第３順位の接種となるので、にじの会の利用者・職員全員が接種を受けられるのは早くて９月末ごろと思われます。

それまでは、毎月１回一斉 PCR 検査を実施し、施設内と利用者・職員の感染予防策の徹底と併せて施設内感染防止に努めていく必要があると考えております。また、利用者・職員に陽性者発生の場合も感染症 BCP 計画に沿って対応し、施設内感染の拡大防止ができるよう、感染発生時の検査・医療・隔離等の体制強化も並行して進めてきております。

今後のにじの会の主な取組は以下の通りです。

１．事業運営での取組
①外部との交流行事の休止（にじの会まつり・アート夏まつり等）
②一泊旅行の休止
③短期入所利用は PCR 陰性確認者に限定
④就労事業の店舗・レストランは感染予防を徹底し１７時までの営業
⑤買い物送迎支援事業は少人数の利用で週２回再開・週１回買い物代行実施
⑥特別支援学校の実習・ハーモニー利用希望者見学会は安全な方法で再開

２．利用者・職員等の感染予防策
①体調異常時の通院と PCR 検査受検
②通所・通勤時の混雑時の時差出勤とマスク着用の徹底
③夜間・週末の人混みへの外出と観光旅行の自粛、外食は安全な店で
④外部施設利用時・昼食時の３密の回避
⑤毎月、定期的に一斉 PCR 検査実施
⑥活動時の外出は安全な場所への徒歩・公用車による外出に限定
⑦活動時のマスク着用・手洗い・手指消毒の励行

家族との連携状況報告

＜第７７回施設家族連絡会（全体会）＞

これまで新型コロナウィルス感染症の影響で開催出来なかった施設家族連絡会の全体会を、3 月 27 日（土）に約１年半ぶりに三鷹市産業プラザにて開催しました。今回は産業プラザの７階会議室３部屋分の大会場で、アクリル板やパーテーションの使用、また、来場者同士の３密防止のため一定距離を保った座席指定という形で実施しました。今回の全体会は、「２０２１年度の事業計画」の説明と第三者評価の報告を中心テーマで開催しました。

当日は７０名超のご家族が来場され、受付での健康チェック後、スムーズに各座席に着席して頂くことが出来ました。久しぶりにご家族同士、笑みで応えるご様子がとても印象的でした。今後も、感染動向を見極めながら施設家族連絡会を実施していきたいと考えております。

（新型コロナウィルス感染対策本部）

＜2021 年度個別支援計画検討会議（個別面談）＞

今回は新型コロナウィルス感染症対策を考慮しながらの３回目の実施となりました。ここ数年 iPad を用いて静止画や動画を交えた面談が主流となっている中で、今回は感染症対策として取組んだ経過を確認する面談内容が特徴的でした。普段はマスクを着用し辛かった方が、外出時のマスク着用などの積み重ねで自ら着用するようになった事例やリモート形式で実施したクリスマス会や分散形式での野外スポーツ大会などの各イベントの様子などの動画や画像をご本人、ご家族の方々は興味津々の様子で見入っておられました。

新年度も感染症対策を継続していきながら、個別支援計画を進めていくこととなりますが、社会参加への支援（外出支援や余暇支援等）をしっかり安全確認していきながら進めていく点と体力低下を防ぐように運動を増やす事が、共通意見として多く挙がっていました。頂いた様々なご意見やご要望等をしっかり支援に反映し、今後も感染症対策に留意するとともに充実した日々が送れるような支援をしていきたいと思います。

（生活介護事業　大沢にじの里　新津健朗）

大沢地区買物送迎支援事業「かわせみ」の再開状況報告

2020 年 3 月の新型コロナウィルス感染拡大を受け、買物ツアーを休止し、それに代わり週１～２回、電話で注文を受け自宅まで配送をする買物代行を行ってきました。そして、利用者の要望も多いことから、昨年９月より、徹底した感染防止対策と安全な方法で買物ツアーを再開しましたが、今年１月の緊急事態宣言再発令により再び休止としていました。宣言解除後の４月１日より、買物ツアー「かわせみ」を再開しました。

まず、外出を控えることでのＡＤＬ低下による転倒リスクや、免疫力の低下で感染リスクが上がるため、ケアネット役員等と相談や情報を提供してもらい、健康な方に参加していただいています。

買物ツアーも、車内の除菌や換気を施し、三密を避ける観点からも、１回２～３名の少人数として、当日の健康確認、お迎え時のマスク着用確認、検温、手指消毒をしてから乗車していただきました。買物先では、にじの会職員がマンツーマンでサポートに付き、安全面に配慮をしています。また、ランチタイムはハーモニーガーデン、大沢ハーモニーを利用し、食事以外はマスクを着用していただきますが、久しぶりにお友達に会って話題は尽きず、時間が足らないことも度々で、多くの利用者から「もうできないと思っていたけど、再開して、皆と話せてうれしい」という声をいただいております。これからも、状況に応じた感染症対策を講じて、事故無く、安全、安心な買物ツアーを継続できるよう努めていきます。それは利用者の『買物ができる喜び、そして笑顔のため』にほかなりません。

（地域貢献担当主任　木村高大）

1992 年 4 月 17 日第三種郵便物認可（毎月 3 回 7 の日発行）

2021 年 3 月 19 日発行　SSKR 通巻第 9178 号

2021 年度の年間スケジュール

２０２１年度の行事等の予定は以下の通りです。
新型コロナウィルス感染対策として『にじの会まつり』、『一泊旅行』は中止いたします。

■行事予定

４月　９日（金）　ウォーキング大会
１０月１６日（土）　２０周年記念式典
１１月１９日（金）　スポーツ大会
１２月２４日（金）　クリスマス会
１月　７日（金）　成人式

■帰省・休業期間

４月２９日（木）～５月　５日（水）　５月連休
８月１２日（木）～８月１８日（水）　夏休み
１２月２９日（水）～１月　４日（火）　正月帰省

■施設家族連絡会

６月１１日（金）　参観日（日中懇談会）
９月１８日（土）　全体会（生活懇談会）
１２月　３日（金）　参観日（日中懇談会）
３月２６日（土）　全体会（生活懇談会）

『にじの会だより 77 号』　定価　50 円

発行所：特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

〒157-007　東京都世田谷区祖師谷 3-1-17　ヴェルドゥーラ祖師谷 102 号

編集人：社会福祉法人にじの会

〒181-0015　東京都三鷹市大沢 1-6-3　TEL：0422-39-2411　FAX：0422-39-2412